

田島中学校区 学校適正配置検討会議（第4回） 会議録

1 日 時 令和3年1月8日（金） 午後7時から

2 場 所 生野南小学校 講堂

3 出席者

（委員）

東 智則委員、宇杉 清治委員（座長）、大倉 裕子委員、荻田 真司委員、
北山 泰利委員、中島 孝治委員、福田 成隆委員、舩井 静香委員

（学校）

藤本 睦子（田島中学校長）、竹口 和代（田島小学校長）、木村 幹彦（生野南小学校長）

（教育委員会事務局）

山口 照美（生野区長兼生野区担当教育次長）、櫻井 大輔（生野区副区長兼生野区教育担当部長）、忍 康彦（学校環境整備担当部長兼生野区役所こども未来担当部長）、花月 良祐（総務部学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長）、樋口 義雄（総務部首席指導主事兼生野区役所こども未来担当課長）、大川 博史（地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長）、三宅 俊之（総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理）、二川 康裕（総務部施設整備課老朽対策担当課長代理）、川楠 政宏（地域活性化担当課長代理兼教育委員会事務局総務部教育政策課生野区教育担当課長代理）、松本 宏晃（学事課担当係長）、竹中 一郎（生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長）、白石 秀一（生野区役所地域まちづくり課係員兼教育委員会事務局総務部教育政策課係員）、西川 明宏（生野区役所地域まちづくり課係員兼教育委員会事務局総務部教育政策課係員）

（傍聴）0名

4 議題

- (1) 校名案及び通称案について
- (2) その他

5 議事要旨

(1) 行政からの説明

【校名案及び通称案について】

（議事資料に沿って説明）

- ・前回の検討会議で選定された校名案と通称案のそれぞれ6案について、「参考資料2」の内容で、田島小学校・生野南小学校・田島中学校において11月9日から職員室前や掲示板等へ掲示のうえ、11月16日に児童生徒へアンケートを実施した。
- ・アンケート結果は議事資料のとおり。
- ・本日はアンケート結果を参考に、校名および通称について、各1案に絞り込んでほしい。

【その他（通学路案の現地確認について（報告））】

（報告資料に沿って説明）

- ・実施日時については報告資料のとおり、現地確認でいただいたご意見については別紙のとおり。
- ・いただいたご意見は、現在、建設局や警察等の関係機関と調整中であるが、今後、安全対策専門部会において、いただいた意見の対策等を中心に議論していきたい。

【その他（田島中学校工事説明会について）】

- ・近隣住民、保護者に向けた工事実施に係る安全・環境対策や工事スケジュール等の説明のため、令和2年11月15日に工事説明会を田島中学校体育館で開催した。また、追加の工事説明会を令和2年12月16日、17日に開催すると案内していたが、新型コロナウイルス感染症対策の要請が延長拡大されたことから、説明会は一旦延期した。
- ・予定していた説明会の配布資料、補足説明文書などは生野区役所ホームページに掲載しており、本日、その掲載資料を参考までに配布する。
- ・追加の工事説明会は、新型コロナウイルス感染症の状況を見極め、改めて関係者に案内する。

(2) 意見交換

(委員)

- ・それでは、本日このアンケート結果を参考にいたしまして、皆様方からご意見をいただきたいと思っております。また、校名案及び通称案もこの中から選定させていただきたいと思っております。ちなみに、今日、校名が決まらないとどういうことになるか、先に事務局のほうからご意見を伺いますのでよろしく願いいたします。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・校名が決まりませんと、校章、校歌、標準服の検討についても影響してまいりますので、ぜひともよろしく願いしたいと思っております。

(委員)

- ・校名が決まらないとその他にも影響があるということなのですが、できたら、今日、皆様方に選定していただきたいと思っております。よろしく願いいたします。
- ・それでは、これより皆様方の意見をお聞きしたいと思っております。すみません。挙

手の上、ご発言いただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

- それでは、皆さん方、ご意見がいろいろあると思えますけれども、順次、忌憚のない話を伺います。よろしくお願いいたします。

(委員)

- こんばんは。私は久しぶりに出席させていただくんですけども、個人的な意見としては、「田島」も「生野南」も愛着もあることですし、私個人的には、できたらしこりのない程度に残すのがいいかなと思うんです。だから「生野南学園」、「田島小学校」でも「田島南小学校」でもいいかなと、私個人的にはですけども、これを推したいなどは思っております。それでなかったらもうしこりのないように「あじさい小学校」かなと思ってます。

(委員)

- ありがとうございます。それについていろいろ皆様方はいかがお考えでしょうか。この場でしこりのないように、忌憚のない話をお聞きしたいと思っております。

(委員)

- これは僕個人的な意見なんですけれども、こうやってみたら多数決で素直にいった方がいいのかなと正直、思ひまして、東京のほうでは高輪ゲートウェイみたいな話があったじゃないですか。何故そんな少ないのが選ばれたんやみたいな。一番この意見が多かったからといわれたらそれでバシッと終わるかなと思うので、僕自身は、個人的にはこの結果を見て、「田島南小学校」、それから「田島南小中一貫学校」でいった方がええんちゃうかなと思ひました。個人的なんです。以上です。

(委員)

- ありがとうございます。

(萩田委員)

- すみません。萩田です。こんばんは。パーセンテージでいうと、「田島南小学校」と「田島南小中一貫校」ということになると思ひます。これはデータの無下にできないなというのもしっかりおっしゃるように思ひます。「田島南」を略したら「たしなん」になったりすると、なんか生野南小学校の「いくなん」のこういう流れを継承しているんじゃないかな、なんていうのも出てまいりますが。
- 2つ目の意見としては、通称名は今すぐ決める必要はないと思うんですけども。逆に条例上は必ず必要ではないと思うんですが、何でしたらこの部分をもうちよつと膨らませるのも一つの方法と思ひます。校歌、校章、そういったところと並行作業するのはいかがでしょうか。質問ですね、よろしくお願いいたします。

(委員)

- ありがとうございます。ただいまのご発言に対して、通称名が今日決まらなくても、校名だけでもいいじゃないかというお話、事務局、すみません、ご回答を。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活

性化担当課長代理)

- できれば今日決めていただきたいのは校名ということなので、通称につきましては後日でも対応は可能だというふうには思いますので。

(委員)

- 通称は後日でもいいということなので、できたら校名だけのご発言を進めていただくようお願いいたします。

(木村生野南小学校長)

- ちょっと、意見を言うていいですか。

(委員)

- 校長先生、どうぞ。

(木村生野南小学校長)

- ちょっと今の校名から外れるかもわからないんですが、そもそもこれは小学生とかに意見を求めているんですけども、小学生なので、特に低学年は漢字の意味がわかってないんですよ。それを説明しますと、例えば、上の小学校名の③「生野田島小学校」というのが、生野南小学校の子どもらの中で一番多いんですけども、これはなぜかと言うたら、本校が生野南小学校なんで、子どもから見たらこの「生野」というので、本校の3分の2が残っているという捉えになってしまうんですね。それに田島を引っつけているんで半々ではないんですけども、ある意味半々やから、これはうまくいくのかなという捉えになるんです。ところが漢字の意味から考えると、「生野」と「生野南」というのは全く意味が変わってくるんですよ。「生野」というのはこの生野区の広い範囲を指す意味になって、「南」が取れると全く本校のことを指さないんですよ。「田島」というのは元々田島小学校なので、これはまるっきり田島小学校を指しています。だから小学生の多数決の結果なんですけども、そもそもの漢字の意味を捉えられていない内容になるので、それでいくと、①「田島南」もそうなんですよね。これは生野南小学校の子からしたら「南」という字が残っているように見えるんですけど、「田島」の南の方を指すという意味になる。となると全くその生野南小学校の学校名とは違うので、それを、もし、子どもが意味をどういうふうに捉えたかというのを考えると、もうこれは全体的に子どもらの意見としたら、どれも同じぐらいの世辞が集まっていると考えるべきで、あまり前提とせずに、最終ここで決めるのであれば、例えばここで投票権がある方が校名と通称名のセットをそれぞれが意見して、投票して、支持の少ないものから一つずつ減らして、最終的に過半数を取るまでやるというのが、意見集約をするにあたっては一番無理がないのかなと思います。
- それと、先ほどの「先に校名」という意見が出たんですが、それをやってしまうと例えば、アンケート結果の⑤「田島小学校」という名前がもう残らない。先に校名にすると、残しにくいですよ。そもそもなぜこういう形にしたのかというのを遡って考えると、これは私が言ったんですけども、私はもう小学校名は「田島小学校」でい

いんじゃないかな。理由はそもそも「田島」という地名が昔からある地名でこの辺り一帯を指す地名になります。それに対して小中一貫校の通称名が「生野南学園」というのは、これも「生野南小学校」を指すのではなしに生野区の南を指すと捉えたら、生野区の南である田島の地域でほかの大阪市の小中一貫校とは違う、ここの地域だけ特別ルールでつくられたここの地域の小中一貫校なので「田島小学校」、「田島中学校」という形でいけば、その後の校章とか校区についても、今使っているやつを全て残して地域の学校として全て残っていくという形で一つの案になるんじゃないかなという。すみません。投票権がないので勝手なことを言ってますけれども参考にしていただければありがたいなと思います。以上です。

(委員)

- ・ありがとうございます。このアンケートはあくまで小学生を対象にしたアンケートですので、校長先生がおっしゃったとおり、ここにおられる者がこのアンケートに基づき決定したほうがいいんじゃないかと。

(委員)

- ・すみません。今、校長先生がおっしゃったことは、じゃあ、この候補をまず何で挙げたのかということとちゃんとできていないなということと言われたんじゃないかなと思って聞きます。
- ・「田島」と「生野南」を両方混ぜるということが、「生野南小学校」はやっぱり位置を指しているような名前、地域の名前みたいなことではないところからまずあるところもあるのに、その2つを混ぜるということはその元々の意味が成さないんじゃないかみたいなのところも踏まえて、候補をじゃあ立てないといけなかったかなというところまでなっちゃうところがあるのかなと思って、ちょっと聞いていました。ここはこれで、まず子どもたちにこれを示したのは私たちで、その中から子どもたちは子どもたちなりに考えて漢字の意味がわからない。うちの下の子どもは2年生なんですけれども、めっちゃいろいろこの案について意見をくれました。その子なりにいろいろ思っていることをいろいろ話してはくれました。それは足りない部分はあるかもしれないですけれども、子どもたちはこれを提示されて考えたということなので、またそれと違う思いのところ、これはこれだねと言って、また私たちが考え直すということならば、やっぱり候補をしっかりと考えなあかんかったんちゃうかなというところも一つあるかなと思います。もうこれで決めるということなのであれば、私は「田島南」とか、「南田島」もそうですけれども、もう恐らく言葉の、両方の地域を足せているかというたら違うところもあるとはもちろん思うんです。だけど、それでも生野南小学校の、例えば「田島南小学校」であれば、「田島」という言葉と「生野南小学校の南」という、それが「田島南」という言葉にしてしまうと、ちょっと意味合いが変わるというのはもちろんなんですけど、両方がこれで入ったという感じのものであれば両方、「田島小学校」と「生野南小学校」が1個になって「田島南小学校」

になったんだよというなんかストーリーがあるというか、なんかすごいそれはそれでもういいのかなと。

- ・それを意味を考えてしまうと、もう、じゃあ、これを設定した私たちがもっとしっかりここで子どもたちがどんな思いで、それを見るのかなというところを考えてあげないといけなかったのかなということにはなるかなと思うので、私はそれはもうアンケートありきなんじゃないし、それで子どもたちがちゃんと投票の中にそれが全部反映されているとは思わないですけども、私は「田島南小学校」でもいいのかなと思います。

(委員)

- ・ありがとうございます。今おっしゃったのは、田島小学校の「田島」と生野南の「南」が残った「田島南小学校」がいいじゃないかというご提案でございます。そのほか、どなたか。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・ちょっといいでしょうか。

(委員)

- ・どうぞ。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・すみません。さきほどのご意見についてなんですけれども、やっぱりアンケートにもこの名前を考えた理由を書いています、それが2つの小学校の名前を合わせたものですよというふうに説明されているので、そういう考えでいいのかなと私も思ったところです。すみません。ちょっと口を挟みまして申しわけないです。

(委員)

- ・ほかにどなたか。今の間に言うとしてくださったらええよ。ほかにないですか。
- ・それでは、ないようでしたら、すみません。この選定委員の中でどの校名がいいかどうことを集計していただけるメモかなにか、ちょっと回していただけませんか。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・それでは、前回と同じような形でというような形でさせてもらうということにいたしましょうか。

(委員)

- ・そうですね。

(委員)

- ・とりあえず小学校の名前だけですか。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活

性化担当課長代理)

- ・そうですね。それでもよろしいでしょうか。

(委員)

- ・はい。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・準備いたします。

<用紙配布>

(委員)

- ・すみません。ご記入いただけましたでしょうか。それでは、ちょっと集計していただけますか。すみません。よろしくお願いします。

<集計、ホワイトボードへ書き出し>

(委員)

- ・それでは、集計の結果をご報告させていただきます。前のホワイトボードに書いてますとおり、全員が「田島南小学校」で。それでは、ただいまの集計の結果をもちまして、小学校の校名案は田島南小学校ということで決定させていただきますのでよろしいですね。

(出席者)

- ・はい。

(委員)

- ・ありがとうございます。それでは、通称案はまた後日ということですが、これはいつぐらいまでに決めんといかんのでしょうか。

(委員)

- ・ちょっといいですか。皆さん、どうですか。通称案を決めるべきだと思いますか。僕は一つ投げかけたただけなんで、僕の明快な意思表示でもなかったんですけども、通称案はじっくり決めていく、もしくはもうこの機に決めていく。この辺はもし良かったら委員の皆さんに。

(委員)

- ・ありがとうございます。委員の皆さん、今、ご提案がありましたように、もしよければ通称案も本日決めていければというご提案でございます。皆さん方、それで進行させてもろてよろしいですか。

(委員)

- ・今日決めなくていいというのは、さっき三宅さんも言っていただいて、でも、この先がちょっとよくわからなくて。子どもたちにはアンケートは取った、そして、本当は私は小学校名もこの候補のときもちょっと時間のない中、この 6 つの候補を決めていったので、本当はそれをもっといろいろ候補から考えたかったなという思いが本当はあるんです。だけど、もう時間もない中で子どもたちにこれを提示してアンケートを取って、今、今日ここに至っているんですが、じゃあ、通称案は時間がかけられるかもしれないとして、どのようにこの先、決めるそのときまでに、じゃあ、どういう形でこれよりまた候補を増やしてなんかをするのか、もうこの中で考えるのか、ちょっとそれがイメージできてないので、どういう方法が、そして期限的にも考えられるのかなというのは教えていただけるならば、ちょっと前のときの自分の中の反省として、もうちょっと考えて候補を立てたかったという思いもあったので、時間をかけて考えられる機会があるなら通称名だけであってもそうしたいけれども、できるとすれば、なんかどういう形になりますかね。

(委員)

- ・今、ご質問がありましたけれども、通称案というのは今後、どの範囲内の期間で決定したらいいものか、難しいやろうけれども。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・そうですね。

(大川地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・先にちょっとだけ。最後にご説明させていただこうと思っただけなんですけれども、今後のこの検討会議につきましては、今、コロナの感染拡大状況がございまして。府のほうからも緊急事態宣言を政府に要請するという話を伺っていますので、ちょっと当面この検討会議自体は開催するというのは、今は目途が立たないようになるのかなと思っています。ただ、一方でこの検討会議でご議論いただくというのが校章と校歌になってまいります。冒頭、事務局から、校名が決まらないと後のことに影響するという説明はさせていただきましたけれども、校章、校歌も当然、検討会議で議論をいただきますので、それに入っていくためには学校名を決めないといけないんですけれども。あと、影響がある可能性があるとなれば標準服。当然、安全対策とかほかの部会も環境部会もやってまいりますけれども、部会のほうにつきましては、この検討会議、皆さんが参加いただく形とは違って部会のほうは少人数ということもありますので、できれば今後のコロナの状況がありますけれども、専門部会については、コロナの状況を見ながら少人数で対応できるような形で運営していければと思っております。その中で一番時間がかかりますのが標準服です。標準服が一番時間がかかるだろうと思っております。標準服につきましては、先ほど申しましたとおり専門部会、両校保護者、PTA の方を中心にやっていただくということで考えていますので、まず

今後のこの会議自体の運営についてはそういう方向で考えておりますので、それを踏まえ、通称名をいつごろまでにという。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・いつまでとかはっきり言えるものはないんですけども、一応、通称案につきましても行政的な手続を取って規則を改正して、教育委員会議にかけてというような手続は出てきますので、それなりの時間というのはやっぱり必要になってくることもありますし、開校前にも事前にやっぱり周知期間を取らなアカンということにもなってくるかと思っておりますので、そんなに次の冬まで大丈夫ですとかいうことではないのかなと、なるべく早く決めて周知していくということが大事なのかなとは思ってます。

(委員)

- ・すみません。ちょっと質問なんですけれども、市会の学校設置条例、多分2月か3月に出されるんですけれども、その時点で通称名は決まっておかないといけないんですか。それと同時に出さないといけないんですか。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・それは議会には出さないものになりましたので。これは連動しないということにはなりません。

(木村生野南小学校長)

- ・すみません。投票権はないけれども、ちょっと意見を言っていていいですか。これは行政的には正式名と通称名で重みがあるかもわからんですけども、先ほど、子どもが考えて投票したということの重みでいうと、もう校名も通称名も同じ重みやと思うんですよ。校名は子どもが考えた結果、投票ということプラスここの投票権がある人が漢字の意味も考えて先ほど投票されて決まっていますよね、となったら通称名もここに挙がっているもの以外を、今から子どもらに例えば聞かずに出すというのは、やはりちょっと子どもらも「えっ」となるんじゃないかなと思うんです。となると、同じようにもうここの投票権がある人らで投票して過半数を取るまでやっていくという形が、小学校名と同じような形できっちり決めたというような形になるんじゃないかなと思ったので一応言わせてもらいますが、投票権はありません。以上です。

(委員)

- ・ありがとうございます。それでは期間というのは、今現在はわからないということですね。
- ・それでは、小学校名が決まったので周知徹底も踏まえて小中一貫校の選定は後ほどしたらいいんじゃないかという意見がありましたけれども、そうすると、このコロナ禍で急ぐわけじゃないんですけども、今後もまた、小中学校の校名案のアンケートを

取り集計して、また会議していくとなると最低でも半年かかりますね。そうすると、小中一貫校名もこの皆さんの委員の中で決定されたほうがいいんじゃないかと思えます。それに対していかがでしょうか。

(委員)

- 先ほど言われた「通称名はもうちょっと考えても」のイメージを聞かせていただいたんですけども。
- 「通称名は」と言われたのは具体的にどうやってその後、この先どういうふうにしたらいというイメージでおっしゃってくださっていたのか、私はちょっとイメージができていなかったの、そういうのがちょっとわからないから、さっき校長先生がおっしゃってくれたようなことも考えられるなというところで、思っていたらしゃることをどういう方法で、じゃあ、この後考えられるなと思ってはったのかということ、いつぐらいまでそれが可能なんかなというようにことをもうちょっと知りたかったなと思ってました。

(委員)

- そうですね。まずこのアンケート結果を見まして、どちらとも微妙かなと思いつつ、ちょっとパーセンテージを見ていると微妙だなと思ったので、今後の進め方としてはもう3つあるかなと、決め方というかね。1つは、もう通称名を必ず決めなきゃいけないわけじゃないので、このままでいくとパーセンテージだけ見たら、「生野南小中一貫校」という通称名でなるわけですからそれで意味はあるのかなと。通称やとしたら何か、例えば学校名を「田島南小学校」として仮定したとしたら、通称名というのはまた違う意味を持った何かそうあってもいいんじゃないかなと思ったので、それだったらもう一度考えてもいいかなと。

(委員)

- フラットにしてですか。

(委員)

- そうですね。この意見を参考にとということなんですけれども、「田島南小学校」と仮定しましたと、皆さんから貴重な意見をいただいたんですけども通称名に関してはちょっともう一度再考したいとなれば、また「田島南小中一貫校」という名前もですね、「あじさい学園」というのが一つ特徴的なものがあるんですけども、何か学校の校風とかそういう今後の学校の育っていくイメージをちょっと膨らましながら、何か案をちょっと増やしていてもいいんじゃないかなとも思いました。
- それも膨らませる過程の中ではっきり言ってこんなにたくさんの方が集まってするんじゃないかと、膨らましてから小学生からもアンケートを取りたい。ちょっと人数を絞って分科会のさらに分科会ぐらいで一度、一つ出してみてもいいんじゃないかなと。最終的には小学生とか中学生に意見を求めて、この先日行われたアンケートの用紙みたいに、この名前の由来とか、そういったところをもうちょっとたくさん織

り込んでもう一度聞いてみてもいいかなと思いました。

- あと、残り2つの方向性としては、今決めるか、それとも、もう不要か決めない。どうせパーセンテージも同じ学校名なんで要らないというのも一つかなと思います。その3つの方向性があるんじゃないかなと思って一つご意見したまでです。だからはっきり言って半年かかるというようなところじゃなくて、この2、3カ月ぐらいのスパンで決まればいいのかなと。この通称名に関してはもう柔らか頭で、少人数で考えてもいいかなと思います。

(委員)

- 通称名のことは、この中のメンバーで最初にどういうふうにして決めるかという中で、我々がいろんな案を出して、それを子どもたちにアンケートを取っていただいて、それで検討するというのが前回、前々回の会議の中での話だったんで、私はもうこの中からこのメンバーで決めていいと思うんですけどもどうでしょうか。

(委員)

- いいですか。僕も正直、同じ意見です。

(委員)

- ありがとうございます。

(委員)

- もう1回言ってもらっていいですか。

(委員)

- 通称名をどうするかというのもこの中のこのメンバーで決めたことなんで、もうこのまま延ばす、もしくはまた通称名を再検討して、そんで、またそうなると子どもたちにアンケートせなあかんということになるんで、それをどういうふうに子どもに説明したらいいかなというのが。「決まれへんかったから、もう1回アンケートをしてください」と言えばそれで済むんかもしれないんですけど、あまり長引かすよりも決めたほうがいいかなと僕は思うんですけども。

(委員)

- この候補の中から、このメンバーの中で、もうさっきの小学校名と一緒に決めるということですか。

(委員)

- 僕はもうこの中で決めていいかなと思うんですけども。

(委員)

- ありがとうございます。ただいま皆様方に意見をお聞きしておりましたら、この委員の中で選んだものが一番いいんじゃないかと。それについて今日決めたらいいかどうかをとりあえずお聞きします。
- それでは、小中一貫校の通称を今日決めればいいなと思う人は挙手をお願いします。

<5名の委員が挙手>

(委員)

- それでは、一応8名のうち5名賛成ということなので、できれば今日決めさせていただきますので、先ほどのとおり、また通称名のアンケートを取らせていただきますので。

(委員)

- すみません。1つだけすみません。

(委員)

- どうぞ。

(委員)

- そういう流れで、この間もそうでしたし、こう流れていくのは仕方がないと思ってる場所はあるんですが、一言だけ言いたいのは、学校の名前は、これは今残っているのは通称名ですけれども、すごく大事なことで、本当に急いで決めたり期日があるからという言葉は何度も何度も今までも言われてきてるんですが、そんなものじゃないところで私たちは本当に時間をかけていかなければいけない、ここに来れない人たちがいるなかで、ここで候補を私たちは決めましたが、この候補を本当にあのときあの方で見て、タタッと私たちの中で出してそこが深まったとはやっぱりとても思えない候補を、子どもにアンケートを取ってます。なので、すごい後で、「なんでこんなものしか出てこなかったの」と私は何人もの方にお叱りを受けてます。「もっとなかったん」ということも言われました。「学校の名前やで」ということで言われたりもしました。時間がないしコロナで集まれないし、もちろんわかっているんですが、本当に学校の名前なので、本当は、本当はこうやってもうこれでいいよねみたいなどころじゃない話ができる場が果たしてあったのかなと思ったら、本当に時間がなかったなど、そんな中でなんか出てきたもの1つずつもちゃんと見てあげられなかった。挙がってきたいろんな候補をちゃんと見てあげられなかったなどという思いなんてすごくあります。なので、急ぎ足で行くしかないんですが、そればかりになってしまっているのかなといつも思っているんで、これは後に残っていく大事なことを私たちこのたった数人で決めようとしていますが、すごく大事なことなので、そこが簡単に進んでいくのはちょっと毎回思いがあります。それは一言言わせてください。多数決で決まったことなのでそれでいいですけれども。

(委員)

- 貴重な意見をありがとうございます。我々はずっと地域に対しても児童に対しても広報等を通し、またアンケートを通して集計して、委員の皆様方から意見を聞きながら校名、通称名のそれぞれの意見も少しですけれどもお聞きいたしましたところでございます。私たちの生きている間は今日決まりました校名、通称名がずっと残ってい

くことだと思えます。もう次いつ統廃合が来るかもわかりませんが、私はそない思っております。ここにおられる委員さんも、そんなあやふやな気持ちで本日来られておるとは思っておりませんので、前に進めたいと思っております。すみません。アンケート用紙がありましたら委員さんをお願いいたします。

<用紙配布、集計>

(委員)

- ・お待たせしました。ただいまアンケートの結果を報告させていただきます。
- ・「田島南小中一貫校」が4名、「南田島小中一貫校」が1名、「田島小中一貫校」は1名、「小中一貫校あじさい学園」が1名、「生野南学園」が1名、それぞれご意見をいただきました。この中で一番多いのは、多数決というたらおかしいですけども、一番票が多かった「田島南小中一貫校」に決定ということでさせていただいてよろしいでしょうか。

(大川地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・すみません。ちょっとだけ。

(委員)

- ・どうぞ。

(大川地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・私も事務局で投票権がございません。それで先ほど木村校長先生から話がありました、例えば過半数が出るまでずっとやっていくという話もありましたけれども、今の数字でいくと過半数というのがない状況になります。
- ・冒頭にご説明すればよかったですけれども、本日、欠席されている委員2名について、今日の検討会議の全ては一任いただけるということで伺ってます。ただ、基本的には一任をするけれども、仮に投票になった場合の欠席されている委員の意向確認を求められた場合ということで話を伺っております。
- ・欠席されている委員のうち、1名より、小学校名はご意見を伺っていたんですけども、小中一貫校名に関してはこれももう一任するというで伺っております。もう1名の委員につきましては、小中一貫校名につきましては、「生野南学園」、基本的に一任はするけれども、もし意見を聞かれるとしたら「生野南学園」ということでお伺いしているということだけ、ご報告させていただきたいと思えます。

(委員)

- ・ただいまご報告がありましたけれども、その報告をいただきました2名の方の意見を集約させていただきましたところ、やはり「田島南小中一貫校」という方向でいいんじゃないかと思っております。私の思うには、小学校名が「田島南小学校」に決定しておりますので、通称名が同一ということでいかにもわかりやすい、簡単に覚えら

れると思いますんで。どうでしょう。

(委員)

- ・すみません。

(委員)

- ・どうぞ。

(委員)

- ・校長のお話もあったんで、正直今やったら過半数は行っていないのは事実なんで、これをもとにもう1回やるというのは一つの手かなと思いますけれども、8人中4人だから過半数は行っていないですね。だからそれを踏まえてやるというのは一つの方法。

(委員)

- ・欠席されている委員の意見も入れても過半数には、約半数ですからね。10人のうちの5名ですから過半数を超えてない。その件に対してどないしましょう。

(木村生野南小学校長)

- ・すみません。投票権はないけれども、こういうときの解決法として、欠席されている委員の方が一応言っていたらしいですけれども、それは効力があるかないか難しいので、でいくならば1票ずつ取っている4つの名前を投票して、そこから対立候補を選ぶということ。
- ・最終的に下の4つを投票してその中で多かった1校と最後に「田島南小中一貫校」で決選投票をやれば過半数を絶対にとれると思うんで、やはり構成員が10人なので最終的にその過半数で決めたということにしたほうが、後々皆さんに説明しやすいかなと思います。

(委員)

- ・大変貴重な意見を賜りました。それにつきまして皆さん方、再投票、4つから。

(委員)

- ・4つから一番いいやつを決めて。

(委員)

- ・1票のやつをね。それでは、その1票の入った中から自分がいいかなと思う校名を書き出していただいて、それから再投票ということで2回ずつですけど用紙はありますかな。

(大川地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・すみません。ここからまた過半数に行くまで決選投票をやっていくという形であれば、今ありましたまず1票の4つの中からどれが一番いいかというのを皆さんで選んで、その上で「田島南小中一貫校」と再度やるというやり方が一つと、あと、本日もう全て委任いただけるという話でお伺いはしていますけれども、欠席されている委員の方からありました「生野南学園」、これをカウントするとしたら「生野南学園」

が2票という形になりますので、「田島南小中一貫校」と「生野南学園」で決選投票をするというやり方のこの二通り考え方としてはあるのかなと思います。

(委員)

- ありがとうございます。やはり欠席されている委員の方が口頭で「生野南学園」に希望されておりますので2票ということでカウントをさせていただきます。そのほうが一応、公平だと思いますので、そうすると多い順から言いますと、やっぱり「田島南小学校」、「小中一貫校生野南学園」、この2校の校名になりますけれども、これで再びアンケートを取らせてもらってよろしいでしょうか。それで結構ですか。

(委員)

- すみません。意見があつたらこの1票を入れた方にも思いがあるでしょうから「生野南学園」に入れた方、一度思い入れを言ってくださったら、いや、なければそれでいいんですけども。

(委員)

- すみません。いいですか。

(委員)

- どうぞ。

(委員)

- アンケート結果を言うていいかよくわからないんですけども、僕は「田島小中一貫校」に入れたんですけども、何でかと言うたら、中学校名は変わらないんですよ。「田島中学校」のままなので、それやったらわかりやすいのが、周知できるんやったら「田島小中一貫校」かなと思ってそちらに票を入れさせてもらいました。以上です。

(委員)

- ありがとうございます。

(委員)

- 冒頭でも申し上げたとおり、私も「生野南学園」に入れたんですけども、その理由は最初に申し上げたとおりなんです。でも、やっぱり「南田島小中一貫校」、「田島小中一貫校」、「小中一貫校あじさい学園」、「生野南学園」で投票してやるのがいいかなと思います。

(委員)

- 僕は「小中一貫あじさい学園」に入れたんですけども、小学校名は両方の名前を足してという説明はつきますが、通称名のほうは、そしたらもうあっさりどちらの名前も入れず、しがらみないやつを選んだらこれかなと思って「あじさい学園」にさせていただきました。これはもう最初から別にこの「南」を残さなあかんとか「田島」を残さなあかんというのは思ってなかったんでそういう名前にさしてもろうてます。

(委員)

- すみません。私は「南田島小中一貫校」に入れさせてもらったんですけども、私は

もうこの子どもたちの結果だけを見させてもらって、割合的にみんなが入れているというかそういうので入れさせてもらったんで、私も別にもう名前を残さなあかんとかそんなは別に考えてはないのでこれなんですけれども、子どもたちの意見というかこのアンケート結果のちょうど中間にある感じだったのでこれに入れさせてもらいました。以上です。

(委員)

- ・ありがとうございます。それぞれ皆さんの貴重なご意見ありがとうございます。それではもう一度アンケートを取るという方、それからまず始めたいと思っております。もう一度アンケートを取っていい。もし取るという方は挙手でお願いします。

<委員の挙手>

- ・すみません。何名いらっしゃいますか。5名。それでは、アンケートをもう一度取らせていただきますのでよろしくをお願いします。それでは1票の通称名の中から選んでいただくということで。

<用紙配布、集計>

(委員)

- ・それでは、ただいまの集計結果の中で、「南田島小中一貫校」は1名、「田島小中一貫校」は4名、「小中一貫校あじさい学園」が2名、「生野南学園」が1名ということでこれも過半数を超えていませんけれども、一応これは「田島小中一貫校」で決定してよろしいですか。

(委員)

- ・いいと思います。

(委員)

- ・これでよろしいですか。過半数を超えていませんけれども、一応4と、過半数じゃないけれども半数取っておりますので、それでは決選投票に入らせていただきます。「田島南小中一貫校」、「田島小中一貫校」、それでもう一度、再度アンケートを取らせていただきます。お手数ですけれどもよろしくをお願いします。

<用紙記載・集計>

(委員)

- ・それでは、集計の結果をご報告させていただきます。「田島南小中一貫校」は5名、「田島小中一貫校」は3名、欠席されている委員のうち1名は、通称名についてはお

任せということで、票の多い校名のほうへプラスさせていただきますので 6 名ということですが、それで一応過半数に達したことになりますので、通称名は「田島南小中一貫校」でさせていただきます。皆さん、何度もすみません。ありがとうございました。

- ・それでは、皆様方のご意見により小学校名は「田島南小学校」、通称名は「田島南小中一貫校」に選定されましたのでご報告させていただきます。また、今後この校名案、通称名決定にもちまして、行政にて手続等を進めていただきたいと思います。それについて事務局より何かありましたらご説明お願いいたします。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・今後の手続につきまして参考までにご説明させていただきます。校名案につきましては、今後、学校設置条例の改正に向けて教育委員会会議において審議いただき、今後の市会において条例改正を議決していただくと。それによりまして正式に、ということになります。
- ・また、通称案につきましては、学校管理規則の改正を教育委員会会議において審議及び議決していただいて正式決定ということになります。

(委員)

- ・ありがとうございます。それでは、今後また、校名、通称名につきまして何か行政から連絡事項がありましたら、また委員さんにご連絡いただきますようお願いいたします。

【その他（通学路案の現地確認について（報告））】

(委員)

- ・それでは、次に通学路の現地確認について、事務局からお願いいたします。
- (三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・続きまして報告資料の 1 をご覧いただけますでしょうか。通学路案及び通学路案の安全点検の状況について報告させていただきます。生野南小学校校区につきましては、9月26日の土曜日、それから10月1日の木曜日、この2回にわたって現地を確認していただいております。それから田島小学校校区につきましては、10月13日の火曜日、それから10月24日の土曜日に保護者の皆様と新しい通学路案と一緒に回っていただきまして、気になる点についてご意見をいただいたところです。いただいたご意見及びそのご意見の場所につきましては、生野南小学校校区については別紙1のとおりになっておりまして、田島小学校校区のほうは別紙2のとおりということになります。いただいたご意見につきましては、現在、建設局や警察等の関係機関で今調整しておりまして、今後は安全対策専門部会において、いただいたご意見の

対策等を中心に議論のほうを進めてまいりたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

(委員)

- ありがとうございます。ただいまの報告につきまして何かご質問等がございましたら挙手の上、ご発言いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。
- 何もないようなので、すみません。質問等を打ち切らせてもらってよろしいでしょうか。
- それでは、ありがとうございました。
- 次にその他として、本日の件に関しても何か委員の皆さんからお聞きしたいことがありますらお願いしたいと思います。どうでしょうか。

(委員)

- すみません。ちょっと通学路と似た話になるんですけども、第2運動場の現田島小学校の東門のほうまでグリーンゾーンを延ばすことができるのでしょうか。別紙1-1でしょうか。現田島中学校は変わりないです。田島中学校のプールのところから北へ延びる道があると思うんです。その先に現田島小学校の水色の地図に示されているところですけども、これの間がグリーンゾーンになるということで、ここが通学路の大きなメインのストリートになるのかなと思いましたが、第2運動場、また第2校地としてこの2つの敷地が連携して運用されると聞いてますので、この緑の部分を延ばすということは可能なのでしょうか。できれば延ばしてもらって東門とつながればなと思います。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- この資料の別紙2-1のほうで14番というふうに書かれている部分がありまして、こちらは田島小学校の保護者の方と回ってもらったときにいただいた意見です。14番のほうでも、14番別紙2-2ですね。この14番を見ていただきますと、信号から田島小学校までのところがグリーンラインにしてほしいというご意見をいただいておりますので、いずれも検討するように挙がっておりますので。

(委員)

- すみません。この資料を見落としました。では検討してもらえるとということなんです、今の3つは。わかりました。強く要望を申し上げます。

(委員)

- ありがとうございます。

【その他（田島中学校工事説明会について）】

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・すみません。いいでしょうか。参考で付けさせていただいている資料のことを一言申したいと思いますので、すみません。
- ・田島中学校の工事説明会について、近隣の皆様や保護者の皆様へ安全環境対策や工事スケジュール等のご説明のために、令和2年11月15日に工事説明会を田島中学校体育館で開催しまして、追加の工事説明会を令和2年の12月16、17日で開催するとしてご案内したところなのですが、新型コロナウイルス感染症対策の要請が延長拡大されたことから説明会は一旦延期とさせていただきます。なお、予定していた説明会の配布資料、それから補足説明文書などは生野区役所のホームページに掲載しまして、本日その掲載した資料を、ご参考までに委員の皆様へ配付させていただきます。また、追加の工事説明会につきましては、新型コロナウイルス感染症の状況を見きわめながら改めて関係者へご案内させていただきますのでよろしくお願いしたいと思います。

(委員)

- ・ありがとうございました。

(委員)

- ・その工事説明会のことで、今さっき「追加」の工事説明会ということでしたが、皆さんはどのようにご認識されているかわからないんですが、11月にあった工事説明会は中学生、そして小学校は5、6年生だけに案内が配られました。本当はこの工事は、令和4年4月開校以降もずっと行われるものなので、1年生から4年生、いろんなところにちゃんと配ってもらった説明会というのを開いていただきたいという、すごく基本的なところをまず配られてもいない、案内がされていないという話がありまして、「追加」じゃないな、本当にちゃんとした「最初の第1回目」の説明会というのが行われていないなという私は認識でいます。なので、1回目をやりました。その追加ですということではないですし、ちゃんとできるときには開いていただきたい。本当はちゃんと開いて、そのときにもう本当に明確に答えていただけない工事の内容などがたくさんありましたので、ちゃんと答えていただいて、安心して工事に入ってもらいたいのが本当は筋というか道筋やと思うんですが、もう工事のほうは入られているということでもうそれはそれで仕方がないですけども、ちゃんと資料などももちろん配っていただきたいですし、説明会も開いていただきたい。まだ、この先、もっとこれから冬はどんどん寒くなっていく、コロナのことでこういう説明会とかそういうものが今までやろうとしている形ではやっぱり難しい、検討会議もそうですけれども、じゃあ、できません、延ばしていきます、だけど工事はやりたいんですということではなくて、ちょっともうやり方も、そういう説明会のあり方であったりも本当に考えていただきたいし、検討会議もそうなんですけど、本当にもっと民間で行われているようなやり方などが本当にあると思いますので、ちょっと考えていただきたいなと本当に思っています。工事は入っていくということで、もう中学校

のほうでは困うための作業などが始まっている感じなんではないでしょうか。もう中学生にとってはもう毎日そういう状況が始まりました。体育とかクラブ活動なんかでもいろいろ違う形で今始まったところでありますので、保護者や子どもたちにもっと見えるような説明、そしてその都度、工事の内容が変わるたびにわかりやすく言っていたらと思っております。

- 大きな説明会を開けなくてもその都度わかるような形の発信をしていただいて、そのときにその保護者とか子どもの声がやっぱりそういうことになったら、こういうことで困っているとかこういうふうにしてほしいという声がすぐに吸い上げていただけるような仕組みがちゃんとないと、何となく資料は配られたけれども何がどうなってんねんやろう、みたいな感じで説明会もないし進んでいくという中ではなかなか不安なので、その辺は今までと違うやり方をまた考えていっていただきたいですし、小さく区切りながらいろいろ説明などをしてもらいたいし、私たちもそういう声が届くような仕組みがあればいいなと思っております。以上です。

(委員)

- ごめんなさい。ありがとうございます。それに対しまして役所のほうでは、広報活動、苦情処理、また現況報告、そういったものをどういう方法でやったらいいか検討をしていただいて、工事進捗具合とかをわかるように、ホームページなんかでも発信していただいたらいいんじゃないかと思っておりますけれども、その辺はどうでしょうか。

(二川総務部施設整備課老朽対策担当課長代理)

- すみません。教育委員会事務局施設整備課二川と申します。どうぞよろしく申し上げます。
- さきほどおっしゃられたように、今年から工事についてはまず準備作業ということで既に工事は開始しております。おおむね仮設の工事ということで工事エリアを区切っていく作業をしております。相当、学校にもご迷惑をかけているんですけれども、実施の方向で進捗させていただいてまして、学校に負担のないような形で進めていきたいということで、工事期間等も都市整備局とも協議させていただいております。基本的には学校長と情報交換をして、教育委員会と都市整備局で、お困りになっているところなどを吸い上げてそれに善処していきたいところを考えております。それとともに、皆様にお伝えする内容については学校と打ち合わせをさせていただいて、学校のホームページを利用するなど、最大限活用したいなと思っております。

(委員)

- 何度もすみません。この今日の資料というのは、児童生徒の保護者には配っていただくことは可能なんではないでしょうか。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

・お配りするように準備しております、今日、お子様を通じてご家庭には配っておりますので。

(委員)

・これは全部一式配ってはるんですね。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

・そうです。

(委員)

・わかりました。

【今後の検討会議・専門部会について】

(竹中地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

・次の検討会議につきましてなんですけれども、先ほど大川課長からも報告がありましたけれども、今後のコロナの感染拡大の状況を見きわめながらになると思うんですけれども、また改めてご連絡のほうをさせていただきまして日程調整のほうをしてみたいと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。

(委員)

・すみません。検討会議は、ちょっと大きい集まりとしてはなかなかないみたいな大川さんの話で、小さな分会があるようなイメージでいてたらいいんですか。

(竹中地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

・専門部会ですけれども、ずっと延びております通学路の安全対策につきまして、今日、日程を確認させていただきたいと思っておりますので、それで来週にまた状況が変わるようなことも聞いておりますので、それによって、また変わるかもしれませんが、一旦、日程だけは、帰り際に調整させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

(委員)

・すみません。パソコンというかそういうなんか ZOOM じゃないですけれども、そういうことは可能なんですかね。そういうのは全然考えられないんですか。もうずっと顔を合わせて小さな会議であれば行えるので行おう。

(大川地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

・まず、大人数が集まらないということが原則なんですけれども、あと、外出自粛要請とかそういったものが出ておりますので、どういった対応が可能かということでリモートでそういった会議をやるということもできればいいなとは思っているんですけれども、ただ、それぞれ皆さんの環境といいますかそういった状況もあると思います。その辺は、また、お伺いさせていただいて、例えば一つのやり方として、行政側でもまだ話してなくて勝手ですけれども、例えばどこかの会議室をこちらで用意し

て、そこにそういった環境を用意してそこで参加いただくとか、そういった方法も含めて対応を検討していければなと思っていますので、ただ、安全対策、こちらは一番重要な部分になってまいりますので、きっちりと進めてまいりたいと思いますのでよろしくお願いします。

(委員)

- ・すみません。会としては終わっているかもしれないですけども、その部会の件なんですけれども、これから進めていくのに、この大所帯の会議方法だとやっぱりなかなか開催が難しいということで、小さな部会を繰り返すというのがこれから大事なかなと思っています。非常に具体的になりますし、少人数になったほうが意見も出やすいと思いますので、細やかに、開催の先導をしていただけたらなと思っています。
- ・それから中学校の環境のほうですね。環境部会のほうで現敷地内の安全性とかそこら辺のチェックもありますし、その環境部会の中のまたさらに現田島小学校の敷地のことについてもこの検討会議の中でやるべきだということもありますので、それも開催していただきたいと思います。
- ・これからそうやって大きな検討会議は定期的にはいつもロングスパンにしておいて、小さな部会を一つ一つ段取りしていただきたいなと思いますので、また環境部会を段取りしていただきたいなと思います。

6 確認事項等

- ・児童生徒へのアンケート結果を参考に、検討会議委員による投票の結果、校名案を「田島南小学校」、通称案を「田島南小中一貫校」とする。

7 会議資料

- ・ 議事資料 校名案・通称案のアンケート結果
- ・ 参考資料 1 校名案の進め方
- ・ 参考資料 2 児童・生徒 アンケート用紙
- ・ 報告資料 1 通学路現地確認について
- ・ 別紙 1-1 生野南小現地確認地図
- ・ 別紙 1-2 生野南小学校区ご意見
- ・ 別紙 2-1 田島小現地確認地図
- ・ 別紙 2-2 田島小学校区ご意見